



国際ロータリー第2600地区  
**上田六文銭ロータリークラブ**  
 Rokumonsen Rotary Club

2016-17年度  
 国際ロータリー会長  
 ジョン F. ジャーム

第2600地区ガバナー 原 拓男

【事務局】

〒386-0025 長野県上田市天神 4-24-1  
 上田東急REIホテル 3F  
 TEL 0268-25-6000 FAX 0268-25-6002  
<http://www6.ueda.ne.jp/~ueda6rc/>  
 《例会日》毎週火曜日 12:30～13:30  
 《例会場》上田東急REIホテル 2F  
 《創立》1997年2月18日

●会長 西澤 文登 ●幹事 松澤 一志 ●会報委員長 中澤 信敏 ●副委員長 鹿志村恭彦 ●委員 中沢利樹男/斉藤恵理子

例会日誌

司 会 中澤 信敏君  
 開会点鐘 西澤 文登君  
 斉 唱 「国歌斉唱」「奉仕の理想」  
 慶 祝

誕生日祝 中澤信敏君(28日)  
 結婚記念日祝 中沢利樹男君(4日)  
 西澤文登君(10日)  
 田中栄一君(22日)  
 宮澤広一君(29日)  
 肥田野秀知君(31日)

ゲスト

RI 第 2600 地区 2016-17 年度  
 ガバナー 原 拓男様  
 RI 第 2600 地区 東信第二グループ  
 ガバナー補佐 関 啓治様  
 補佐幹事 滝沢 秀一様  
 佐久 RC 小林 崇之様

委員会報告



・社会奉仕委員長 北村 久文君  
 「ダメ・ゼッタイ」運動ご協力をお願い

プログラム

・ガバナー公式訪問  
 ～原ガバナーをお迎えして～

会長挨拶

大隅良典教授のノーベル賞受賞

西澤文登君

今日は第 2600 地区原ガバナーの公式訪問日です。先ほどからご指導をいただいております。ありがとうございます。関ガバナー補佐には先日から引き続きで、ありがとうございます。



今年は本当にお天気が不順で、雨の日が多いですね。今日は久方ぶりの晴天ですが、報道されるニュースも暗いものが多いような気がします。そんな中、明るいニュースが飛び込んで来ました。大隅良典教授のノーベル賞受賞です。昨年の大村智博士に続いて 2 年連続の医学生理学賞ということですが、日本人のノーベル賞受賞は 25 人目になるのだそうですね。素晴らしいことです。細胞のオートファジー（自食作用）の仕組みの発見をされたという功績だそうです。私には詳しい説明ができませんが、細胞内をきれいにする作用や、病原菌を排除する免疫の働きに関わっているようで、パーキンソン病やアルツハイマー病などの研究にも関

連するのだそうです。まさに今年の RI 会長のテーマ「人類に奉仕しよう」を地で行くような研究だと思えます。

記者会見で大隅教授は「私の研究は細い細い道でした。」と語っていますが、他の人が取り上げなかったテーマに取り組んだのだそうです。「小さな発見が大きくなうねりに育つことがある。」と淡々と語っている姿はカッコいいものがありますが、陽の当たらない研究を黙々と 40 年以上続けるというのは並大抵のご苦労ではなかったと思えます。それを支え続けた奥様や周りの人達の功績も大きいものがあります。奥様の万里子夫人の受け答えにも感動しますね。ご夫婦そろっての会見をテレビで見ましたが、インタビュアーが大隅教授のネクタイが青のものに替わっているのを見てそれを問いかけると、教授は「妻にネクタイぐらいは取り替えなさいと言われました。」と答え、なおも奥様になぜ青なのかと問うと、万里子夫人が「すぐ染みにしてしまっ、まともなのがそれしか無かったんです。」と答えていらっしやいました。奥様は東大大学院時代の研究者仲間だったそうで飾らないご夫婦の様子がほのぼのさせてくれますね。

昨年の受賞者大村智博士、物理学賞の梶田隆章博士、そして大隅良典教授、いずれも基礎研究の受賞です。基礎の研究が無ければ技術革新はありません。しかし地道な長い時間が必要な道です。そういった所に陽を当ててくれることは本当にうれしいですね。映画になった上田の偉人・山極勝三郎博士の癌研究も地味な基礎研究でした。来年 2 月の東信グループの合同 IM は映画「うさぎ追いしー山極勝三郎物語」の永井正夫プロデューサーのお話と映画の鑑賞だそうです。楽しみです。

全会員配布物

- 1. 当クラブ会報 第 909 号
  - 2. ロータリーの友 10 月号
  - 3. 月信 10 月号
  - 4. 10 月米山月間資料 豆辞典
- その他

- 1. 次週 10 月 11 日(火)は理事会です。

出席・ニコニコBOX報告



生川 秀樹君

	ベース	欠席	メイク	出席率
本日	23	4	-	82.61%
前々回	22	6	1	77.27%

会員一同 原ガバナー本日はようこそお越しくございました。ガバナーはじめお越しくございました皆様、よろしくお願ひいたします。

- |        |        |
|--------|--------|
| 肥田野秀知君 | 飯島 俊勝君 |
| 笠原 一洋君 | 柄澤 堯君  |
| 北村 久文君 | 松澤 一志君 |
| 宮原 宏一君 | 宮澤 広一君 |
| 水野 泰雄君 | 中澤 信敏君 |
| 中沢利樹男君 | 西澤 尚夫君 |
| 西澤 文登君 | 生川 秀樹君 |
| 斉藤恵理子君 | 杉山 裕君  |
| 田中 栄一君 | 山田 豊君  |

幹事報告



松澤 一志君

- 1. RI より
  - ・ the rotarian 10 月号
  - ・ 2016.10 月 1 \$ = 102 円

プログラム

ガバナー公式訪問  
～原ガバナーをお迎えして～



1. RI テーマ「人類に奉仕するロータリー」  
(Rotary Serving Humanity)
2. 2600 地区方針及び行動指針  
地区標語 「Basic & New! (原点に  
返り新たな改革を)」  
行動指針 「長所を認め合い絆を深めよう」
3. 重点事業 (地区プログラム P9)  
I. 会員増強 (目標) 各グループ純増 10 名、合計 90 名

この数年 2000 名の会員確保に  
苦慮している状況は 2600 地区の  
最大の問題点

会員増強をする為には例えば

- ①ロータリーが果たした役割を多く  
の人に知って貰うこと。
- ②ロータリーとは何か、何に取り組  
んでいるかをクラブを通  
じて地域社会に情報を広げる。
- ③クラブの全会員がロータリーへの  
入会がロータリーの奉仕  
を通じて地域の為、人類の為により  
良い世界を築く機会 である事  
を認識し増強を計る。

II. CLP の運用によるクラブの強化

III. 職業奉仕の見える化

会員が小、中、高の学校で自分の

職業に関する話をする

(ロータリーを知って貰う⇒将来の会員増強)

4. 継続事業

I. ロータリー財団への寄付 (ポリオの撲滅を含む)

今年度はロータリー財団設立 100 周年の記念すべき年です。財団 100 年の歴史は、1917 年 6 月 18 日アメリカジョージア州アトランタで開催された第 8 回年次大会での RI 会長アーチ・クランプの「世界で良い事をする為に基金を作るのが適切だと思われる」という言葉から始まりました。

その後基金に初の寄付 26 ドル 50 セントが寄せられ財団がスタートし、100 年間に世界中の何千という地域社会に 30 億ドルを提供してきました。100 周年はロータリアンや世界中の人々にとって R 財団の人動的活動の大きな歴史を振り返る絶好の機会です。

その歴史の重要な事の一つが 2 人の日本人ロータリアン山田ツネさんと峰英二さんが提唱したポリオの撲滅です。ポリオは現在アフガニスタンとパキスタンで 16 例が報告されただけで、本当にあと少しで撲滅できます。

因みに、来年 6 月 10 日～14 日財団発祥の地アトランタで国際大会が行われますので、当地区からも多く皆様に出席をお願いしたいと思います。ロータリーの友 7 月号の横読み P44～ 45 に「R 財団 100 周年を祝う」という記事が掲載されていますので一読下さい。

さて、昨年度は財団への寄付は一人 150 ドル、ポリオ撲滅に 500 円、平和センターに 500 円という金額をお願いしていましたが、100 年に一度というこの周年を記念して一人 150 ドルの他ポリオに 40 ドル、平和センターに 10 ドル合計 200 ドルの寄付をお願いします。(実質は 4 千円ほどの上乗せ)

2016 - 2017 年度ロータリーの目標 (地区プログラム P9 参照)

お願いばかりで大変申し上げにくく、又心苦しいのですが、申し上げない訳には行きませんので申し上げます。

1920年10月20日東京 RC が設立総会を行い米山梅吉氏が初代会長に就任し、ここから日本の RC の歴史が始まり2020年、東京オリンピックの年に100周年となります。そのため昨年「日本のロータリー100周年委員会」が立ち上げられました。そして今年度が始まる7月1日に東京で第1回ガバナー会議が開催され、議題の一つにこの100周年委員会の予算が上程されました。予算総額は1760万円で内訳は人件費650万円、事務所経費240万円、備品費100万円、三つの委員会費550万円、予備費220万円です。寝耳に水の様なこの件に対し各クラブで既に予算も立てられている事もあり我々ガバナーから多くの反対意見が出されましたが最終的には100周年という周年事業をやるにない訳にはいかないだろうという結論に至りました。

その結果、今年度は約88000人の会員に一人200円の拠出をお願いするという事になりました。予算書では納入期限は10月末日となっていました。降って湧いた様なこの件を各クラブにお願いし理解を戴くにはガバナーが公式訪問で直接お願いするしかないという事で納期は来年4月から5月に延期して貰いました。

今更大変心苦しいお願いで恐縮ですが、考えてみれば日本のロータリー100周年を祝う事は我々ロータリアンにとって大きな節目のお祭りのような事であり、公共イメージの向上には絶好の機会ととらえるべきだと思います。会員の皆様には異論もありませんがご協力を是非宜しくお願い致します。

次に、3年に1度開催される規定審議会がシカゴで開催され当地区からは堀川浩PGが代議員として出席されましたがご承知の通り今回は大きな変革がありました。一部の会員の皆様はロータリーに失望したやの発言もあるとお伺いしましたがこの変

革を否定的に捉えるのではなくむしろ自分たちのクラブをより良くする為の自主権が多くなったと肯定的に捉えれば良いのです。

例えば例会に柔軟性を持たせる件についてはクラブフォーラム等で全員で議論し、その決定が自分たちのクラブにとってより良いと思われるならばその方向性を決めるのは各クラブ自身です。

但し今期は既に始まっておりますので、この一年しっかり議論して欲しいと思います。地区研修・協議会でも申し上げた個人的な意見ですが、私は「四つのテスト」の内三番目の「好意と友情を深めるか」を一番大事にしています。毎週例会で友と逢い語り知らない知識を得るのはとても楽しみです。

最後に東京 RC の今年度のテーマは「Enjoy Rotary」です。楽しくなければロータリーではありません。皆さんロータリーを楽しみましょう。

